



DAISHI HOKUETSU Mini Disclosure 2019.9

2019年9月期 ミニディスクロージャー誌(営業のご報告)



地域とともに。
— A part of the community.

Contents

- 01 プロフィール・トップメッセージ
- 03 第一次中期経営計画
- 05 トピックス
- 06 TSUBASAアライアンス
- 07 ESGへの取り組みとSDGsへの貢献
 - 08 SDGs宣言1 地域経済・社会
 - 10 SDGs宣言2 高齢化
 - 11 SDGs宣言3 金融サービス
 - 13 SDGs宣言4 ダイバーシティ
 - 14 SDGs宣言5 環境保全
 - 16 コーポレート・ガバナンス
- 17 財務ハイライト
- 20 株主の皆さまへ
- 21 役員一覧
- 22 組織図・グループ企業の状況



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

第四北越フィナンシャルグループ プロフィール

(2019年9月30日現在)

本店所在地 長岡市大手通二丁目2番地14
本社所在地 新潟市中央区東堀前通七番町1071番地1
設立 2018年(平成30年)10月1日
資本金 300億円
上場証券取引所 東京証券取引所(証券コード:7327)



第四銀行

第四銀行 プロフィール (2019年9月30日現在)

本店所在地 新潟市中央区東堀前通七番町1071番地1
創立 1873年(明治6年)11月2日
総資産 5兆9,219億円
資本金 327億円
従業員数 2,167人
(出向者を含めた従業員数2,243人)
店舗数 122店舗・駐在員事務所1カ所(上海)
新潟県内113店舗
(つち出張所5カ所、仮想店舗3店舗)
新潟県外9店舗



北越銀行 プロフィール (2019年9月30日現在)

本店所在地 長岡市大手通二丁目2番地14
創業 1878年(明治11年)12月20日
総資産 2兆9,335億円
資本金 245億円
従業員数 1,376人
(出向者を含めた従業員数1,434人)
店舗数 84店舗
新潟県内79店舗
新潟県外5店舗

* 本資料に掲載してある諸計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

* 以下、「第四北越フィナンシャルグループ」を「第四北越FG」「FG」または「当社」と表記する場合があります。また、「第四銀行・北越銀行」を「両行」または「2行」と表記する場合があります。

トップメッセージ



代表取締役会長

佐藤勝弥

代表取締役社長

並木富士雄

第四北越フィナンシャルグループの経営理念

私たちは

信頼される金融グループとして

みなさまの期待に応えるサービスを提供し
地域社会の発展に貢献し続けます

変化に果敢に挑戦し
新たな価値を創造します

行動の規範
(プリンシプル)

使命
(ミッション)

あるべき姿・方向性
(ビジョン)

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

はじめに、「令和元年台風第19号」等の災害により、尊い命を落とされた方々へ衷心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。被災された皆さまの安全と被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

当社は、本年10月1日に設立1周年を迎えました。当社設立以降、皆さま方よりひとかたならぬご理解とご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

当社グループでは、第四銀行と北越銀行の経営統合によるシナジー効果を早期かつ最大限発揮することで「地域への貢献」を果たしていくため、グループ一体となって第一次中期経営計画の実現に向け取り組んでおり、2019年度中間期では本計画の指標目標「地域への貢献に関する評価指標」の9項目すべてで目標を上回る実績をあげることができました。

また、地域への貢献に向けた重要施策として、本年4月に地域商社「株式会社ブリッジにいがた」を設立し、「販路開拓事業」、「観光振興事業」、「生産性向上事業」の3つの事業に取り組んでいます。「販路開拓事業」では、10月に東京日本橋の常設アンテナショップ「ブリッジにいがた」をオープンし、東京と新潟の2つの拠点で本格的に活動を開始しているほか、「観光振興事業」では、県内各地の観光協会に対し多言語翻訳ツールの活用などさまざまなインバウンド対策を提案しており、「生産性向上事業」では、県内企業に対しRPA(ロボティック・プロセス・オートメー

ション)の活用などによる生産性向上策導入のご支援を行っております。

更には、本年5月に設立した人材紹介会社「第四北越キャリアブリッジ株式会社」は、10月より事業を開始し、すでに幅広い業種のお取引先から経営幹部や管理職層などの人材確保に向けたご相談を数多くいただいております。

この2つの新会社を含めた、当社グループ企業全体の連携を更に深化させながら、従来の銀行の枠組みを越えた分野に果敢に挑戦することで事業領域を拡大し、皆さまのご期待に応えてまいりたいと考えています。

地方銀行の広域連携の枠組みである「TSUBASAアライアンス」は、2015年10月の発足以来、フィンテックやシステム・事務の共同化など幅広い分野で連携を進めています。本年に入り新たに2行が加わり、現在9行体制となりました。今後も、より付加価値の高い金融・情報サービスのご提供を通じた地域社会の持続的な成長への貢献に向け、戦略的アライアンスを一層加速させてまいります。

併せて、地域とともに持続的に成長していくため、ESG(環境・社会・ガバナンス)に配慮した活動や、国際連合が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献する活動にも積極的に取り組んでまいり所存です。

第四北越フィナンシャルグループの今後の活動に是非ともご期待をいただき、従来にもましてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

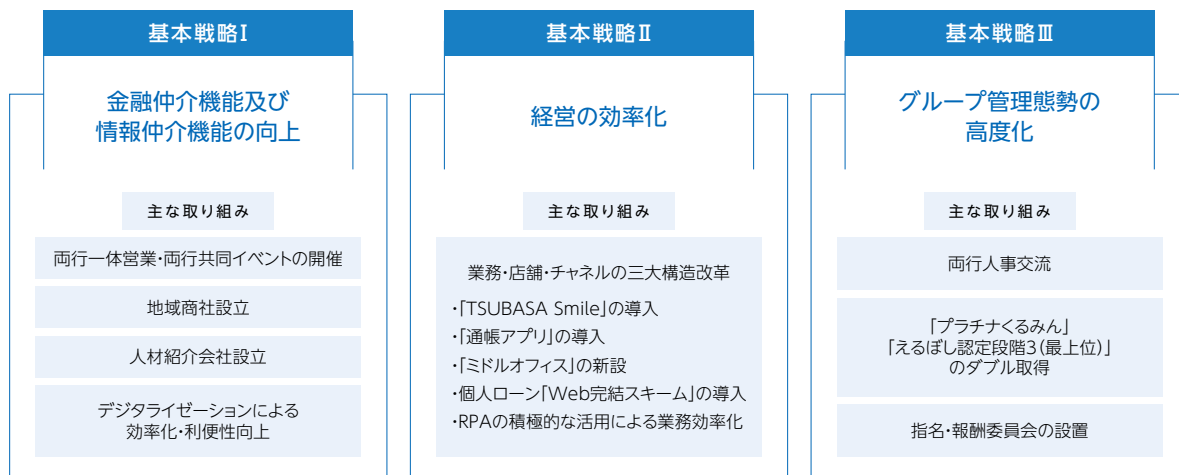
2019年11月

第一次中期経営計画（2018年10月～2021年3月）

基本戦略

第一次中期経営計画では、第四北越FGの重要経営課題である「地域経済の活性化」、「収益力の強化」及び「経営の効率化」の3点の実現に向けて、3つの基本戦略、Ⅰ「金融仲介機能及び情報仲介機能の向上」、Ⅱ「経営の効率化」及びⅢ「グループ管理態勢の高度化」に取り組んでいます。

第一次中期経営計画 計画期間：2018年10月～2021年3月



経営指標 (KPI)

中小企業向け貸出平残、消費性貸出平残ともに前年同期比で順調に増加。総貸出に占める中小企業貸出比率をはじめとするポートフォリオの変革に向けた5指標についても、取り組みの成果が着実にあらわれています。

* 連結表記のないものは2行合算ベース

経営指標 (KPI)	2018年9月期 実績	2019年9月期 実績	ポートフォリオの変革に向けた5指標	2018年9月期 実績	2019年9月期 実績
収益性 連結中間純利益*1 (億円)	(-)	86	総貸出に占める 中小企業貸出比率 (%)	36.9	37.7 ↑+0.8
成長性 中小企業向け貸出平残*2 (億円)	18,228	18,924 ↑+696	総貸出に占める 消費性貸出比率 (%)	24.5	25.5 ↑+1.0
消費性貸出平残 (億円)	12,113	12,813 ↑+700	消費性貸出に占める 無担保ローン比率 (%)	8.0	8.3 ↑+0.3
非金利収益額*3 (億円)	89	103 ↑+14	コア業務粗利益に占める 資産運用アドバイス収益比率 (%)	9.3	7.4 △1.9
効率性 コア業務粗利益OHR (%)	71.7	72.3 ↑+0.6	コア業務粗利益に占める 金融ソリューション収益比率 (%)	6.7	7.5 ↑+0.8
連結ROE (株主資本ベース*4) (%)	(-)	2.0			
健全性 連結自己資本比率 (%)	(-)	2.2			
	(-)	9.66			

*1. 親会社株主に帰属する中間純利益

*2. 部分直接償却前の平均残高

*3. 役員取引等利益及び国債等債券損益を除くその他業務利益の合計額

*4. 純資産額から「その他有価証券評価差額金」等を除いたものを分母とする

地域への貢献に関する評価指標

「地域への貢献に関する評価指標」の2019年9月期実績は、全9項目で目標を上回っており、両行による取り組みが順調に進んでいます。

地域への貢献に関する評価指標		2019年9月期		* 2行合算ベース
		目標	実績	目標比
地域への貢献度合いを測る最重要目標	第四北越FGをメインバンクとしてお取引いただいている企業数	14,365先	➔ 14,573先	+208先
地域経済を牽引する担い手の維持・増加	創業・第二創業に関与した件数	537件	➔ 747件	+210件
	事業承継を支援した先数	735先	➔ 844先	+109先
企業の付加価値向上支援	事業性評価に基づく融資先数	2,857先	➔ 3,647先	+790先
	事業性評価に基づく融資残高	5,953億円	➔ 7,553億円	+1,600億円
	経営者保証に関するガイドラインの活用先数	3,951先	➔ 5,193先	+1,242先
	経営指標等が改善した取引先数	9,196先	➔ 9,468先	+272先
	本業支援件数	2,136件	➔ 2,383件	+247件
	経営改善計画の策定支援先数	300先	➔ 338先	+38先

地域商社 株式会社ブリッジにいがた



2019年4月に設立した株式会社ブリッジにいがたでは、「販路開拓事業」「観光振興事業」「生産性向上事業」の3つの事業に取り組んでいます。

同社では、人員を設立時の8名から19名に増員するとともに、10月には東京日本橋に常設のアンテナショップ「ブリッジにいがた」をオープンし、新潟と東京の2つの拠点で積極的な活動を行っています。



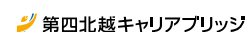
ブリッジにいがた



オープン初日の様子

事業	主な活動実績(2019年4月1日～2019年9月30日)
販路開拓	約350社(商材数約700点)より販路拡大支援の依頼を受付
観光振興	訪日外国人向け多言語翻訳ツール等を提案、17件の販売実績
生産性向上	RPA導入や帳票電子化サービスなどの生産性向上策を提案、33社が導入を検討中

人材紹介会社 第四北越キャリアブリッジ株式会社



2019年5月に設立した第四北越キャリアブリッジ株式会社では、「有料職業紹介事業」の厚生労働大臣の許可を取得し、2019年10月より事業を開始しました。事業開始後の1ヵ月間(10月1日～10月31日)で、すでに120件を超える人材に関するご相談をいただいています。

同社では、地域企業の事業継続に必要な「経営幹部・管理職」や事業拡大等に対応可能な「専門人材」などを中心に、地域企業のニーズに適した人材を幅広く柔軟に供給していきます。

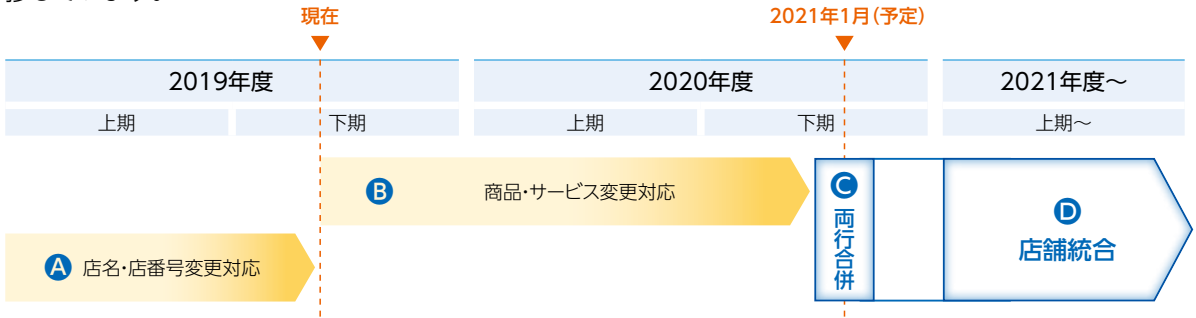


馬場佳子社長

トピックス

両行合併に向けた取り組み

第四銀行と北越銀行は、関係当局の許認可等を得られることを前提として、**2021年1月に両行の合併を予定**しています。2019年11月現在、両行合併に向けたシステム・事務統合プロジェクトは計画通り進捗しています。



A 店名・店番号変更

合併に先立ち、両行の店名・店番号の重複を解消するため、両行は2019年5月より2019年10月まで計5回の店名・店番号変更を実施し、無事円滑に完了しました。

お客さまにはたいへんご迷惑をお掛けいたしました。ご理解、ご協力をいただきありがとうございました。

B 「インターネットバンキング」 全面リニューアル(第四銀行)

第四銀行では、インターネットバンキング(法人向け「だいしIB」・個人向け「だいしダイレクト」)について、合併に先立ち、2020年1月6日に全面リニューアルを実施します。

第四銀行ホームページにおいて、全面リニューアルに伴う重要な変更点に関するお知らせなどを掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

法人向け



個人向け



C 両行合併



D 両行合併後の店舗統合

〈近接店舗〉 2021年4月以降約3年で50店舗(第四20・北越30)を統合

近接している店舗について、店舗内店舗方式*で統合を予定しております。

* 複数の営業店の所在地を同一にして、一つの建物に並存させる方式



「支店B」を近接している「支店A」の店舗に移転

〈地域単独店舗〉 両行合併後も当面維持する方針

平成の市町村合併前の旧市町村単位で、両行のいずれか一方の店舗のみが立地する地域の店舗(地域単独店舗)は、両行合併後も当面維持する方針です。

店舗統合に伴う店舗減損費用(2行計64億円)を2018年度決算に計上済

TSUBASAアライアンス

「TSUBASAアライアンス」は、地域の持続的な成長や金融システムの高度化、参加行グループの企業価値の増大などに寄与する施策の立案・推進を目的とした地銀広域連携の枠組みです。
2019年3月に武蔵野銀行、2019年5月には滋賀銀行が新たに加わり、参加行は9行に広がりました。



TSUBASAアライアンス参加行によるM&A業務プラットフォームの構築



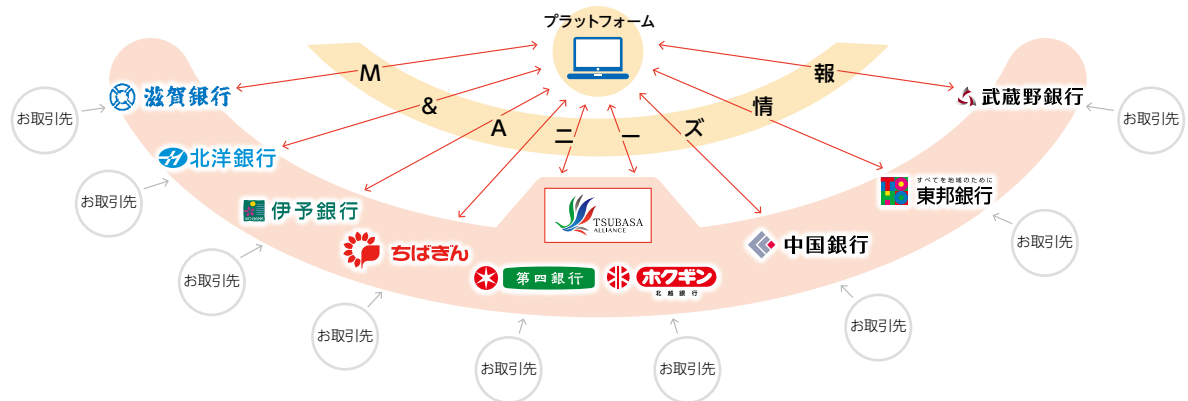
「TSUBASAアライアンス」では、2019年10月より、参加行でM&A業務プラットフォーム*を構築し、銀行の垣根を超えたマッチング活動に取り組んでいます。

「TSUBASAアライアンス」参加行は、自行のお客さまから事業承継や事業拡大・整理などのM&Aに関するご相談を受けた場合、お客さまのご意向にも

とづいて本プラットフォームに情報を登録するとともに、他の「TSUBASAアライアンス」参加行とマッチング候補企業について情報交換を行い、紹介先を選定します。

* M&A業務プラットフォーム
TSUBASA参加行の取引先企業のM&Aニーズを登録した共通のデータベース。

〈M&A業務プラットフォームを活用したマッチング活動のイメージ図〉



世界銀行「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」の販売



第四北越証券では、2019年9月に「TSUBASAアライアンス」参加行のグループ証券子会社との共同施策として、世界銀行が発行する「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」(円建てステップダウン型期限前償還条項付 日米2指数連動債)を販売しました。

世界銀行が投資家の皆さまからお預かりした資金は、開発途上国の持続的発展を目的とする融資案件に活用されます。

「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」のご案内

両行企業年金基金によるスチュワードシップ・コードの受入れ



2019年9月に、「TSUBASAアライアンス」の連携により、両行の企業年金基金のほか、「TSUBASAアライアンス」参加行の企業年金基金が「責任ある機関投資家の諸原則(日本版スチュワードシップ・コード)*」の受入れを表明しました。

* 責任ある機関投資家の諸原則(日本版スチュワードシップ・コード)とは、金融庁が2014年に制定した機関投資家のための行動規範です。投資家としての企業年金基金によるスチュワードシップ活動の強化は、母体企業のコーポレート・ガバナンスの充実にもつながるほか、従業員の安定的な資産形成や自社の財政状態にも好影響を及ぼすとされています。

ESGへの取り組みとSDGsへの貢献

ESGへの取り組み方針

第四北越FGは、持続可能な社会の実現に向けてその社会的責任を果たすため、ESG(環境・社会・ガバナンス)に関する社会的課題の解決に積極的に取り組むとともに、国際連合が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献することで、地域とともに持続的に成長していくことを目指しています。

	<h3>環境 Environment</h3>	<p>地盤とする新潟県の豊かで美しい自然環境を守るとともに、持続可能な社会の実現に貢献していくため、環境保全に取り組むお客さまを支援し、企業市民として地域の環境保全活動や地球環境問題に積極的に取り組んでまいります。</p>
	<h3>社会 Society</h3>	<p>地域、社会の期待に応える幅広い金融サービスの提供によって地域の实体经济を支えていくとともに、地域、社会のニーズを踏まえ、多様な人材をはじめとする経営資源を活かした地域社会の発展に資する活動に取り組んでまいります。</p>
	<h3>ガバナンス Governance</h3>	<p>ステークホルダーであるお客さまや地域、株主の皆さまからの高い評価と揺るぎない信頼を確立するため、財務面での健全性や収益力の向上とともに、コーポレートガバナンスの強化・充実を経営上の重要課題と認識し、企業経営に関する監査・監督機能の充実や経営活動の透明性向上に努めてまいります。</p>

SDGs宣言

2019年5月、TSUBASAアライアンス各行とともに制定したTSUBASA SDGs宣言にあわせて、第四北越FG SDGs宣言を制定しました。各宣言に関連する具体的な取り組みを次ページよりご紹介します。

<p>宣言 1 地域経済・社会</p> <p>地域経済とコミュニティの活性化に貢献します</p>	<p>宣言 2 高齢化</p> <p>高齢者の安心・安全な生活を支えます</p>	<p>宣言 3 金融サービス</p> <p>より良い生活をおくるための金融サービスを提供します</p>
<p>宣言 4 ダイバーシティ</p> <p>ダイバーシティ・働き方改革を推進します</p>		<p>宣言 5 環境保全</p> <p>持続可能な環境の保全に貢献します</p>
<p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</p>		

「にいがたスタートアップコンテスト2019」の実施

第四銀行
北越銀行

両行では、だいし経営コンサルティング株式会社と連携し、地域に魅力ある新事業を創出するため、「にいがたスタートアップコンテスト2019」を実施しています。2019年12月まで新潟県内の創業、第二創業の事業プランを募集し、その後、審査会で優れた取り組みを選定し、表彰します。



「にいがたスタートアップコンテスト2019」のご案内

「村上応援キャンペーン・ポイント2倍」の実施

第四銀行
北越銀行

両行と第四ジェーシービーカード株式会社、北越カード株式会社では、2019年8月より「村上応援キャンペーン・ポイント2倍」を実施しました。

本キャンペーンでは、2019年6月に発生した山形県沖地震（新潟・山形地震）で被災した地域の復興と活性化に貢献するため、村上市内の対象店舗で対象のクレジットカードご利用時のJCB OkiDoki

ポイントを通常の2倍としました。



「村上応援キャンペーン」のご案内

北越銀行賞

北越銀行

新潟県内の社会福祉・災害支援活動に特に貢献された個人・団体の方々を支援することを目的として、北越銀行の創業100年（1977年）を記念して制定した表彰制度です。第43回となる2019年度は新たに10の個人・団体が表彰され、これまでに454の個人・団体が受賞しています。



「北越銀行賞」表彰式

「ライフアップコンサート」の開催

第四銀行
北越銀行

両行では、地域の音楽・芸術文化の振興を目的として、良質な音楽や古典芸能などを低料金で提供する「だいしほくえつライフアップコンサート」を開催しています。2019年7月に黒田亜樹氏、アルド・カンパニャーリ氏、フランチェスコ・ディロン氏で構成する「クロダ・カンパニャーリ・ディロン三重奏団」によるクラシックコンサートを開催し

たほか、2020年3月には落語家 三遊亭兼好氏による落語会を開催する予定です。

2019年9月末現在
両行主催の音楽・
芸術文化イベント開催回数
151回
(1992年度以降累計)

ンパニャーリ氏、フランチェスコ・ディロン氏で構成する「クロダ・カンパニャーリ・ディロン三重奏団」によるクラシックコンサートを開催し



クロダ・カンパニャーリ・ディロン三重奏団



三遊亭兼好氏 ©山田雅子

「だいしほくえつアカデミー」の開催

第四銀行
北越銀行

第四銀行では、地域の子どもたちに、各分野で活躍するプロや社会的テーマに接する機会を提供し、子どもたちの心身育成を支援するため、2013年度より「だいしアカデミー」を開校してきました。

2019年度は、北越銀行との共催として「だいしほ

くえつアカデミー」へリニューアルし、新たに長岡造形大学や北陸学園と共催するなど、開催場所や授業数を拡充しました。

2019年9月末現在
「だいしほくえつ
アカデミー」参加者数
9,993名
(2013年度以降累計)



クッキング



サッカー



科学

「にいがたスタートアップサロン」の実施

第四銀行
北越銀行

両行では、だいし経営コンサルティング株式会社と連携し、2019年8月より「にいがたスタートアップサロン」を開催しています。

本サロンは、創業予定者や創業期にある事業者および第二創業を検討している事業者の皆さまのご相談を休日に承るもので、平日に相談することが難しいお客さまからも大変好評をいただいています。

「にいがたスタートアップ
サロン」のご案内



「北銀奨学会」による奨学金給付

北越銀行

北銀奨学会とは、新潟県内の高等学校を卒業し学業優秀でありながら経済的理由により大学への修学が困難な若者に対し、返済義務のない奨学援助を行い、社会有用な人材を育成することを目的とした公益財団法人で、北越銀行内に事務局を設置しています。

1962年から奨学金支給を開始し2019年9月までの累計支給者数は1,167名となっています。

2019年8月には、第57回となる「北銀奨学生懇

談会」を開催し、奨学生同士の情報交換や県内企業の見学などを実施しました。

2019年9月末現在
奨学金支給者数
1,167名
(1962年度以降累計)



「北銀奨学生懇談会」の様子

「地域の安全見守り私募債」〈SDGs私募債〉の取り組み

第四銀行
北越銀行

両行では、共同企画として2019年10月より「地域の安全見守り私募債」〈SDGs私募債〉の取り組みを開始しました。

本企画は、「防犯」をテーマに「産・官・金」が連携し、地域の安全を守り、魅力あるまちづくりを推進する活動を支援することで、地方創生の推進とSDGsの達成に貢献することを目的としています。本取り組みにご賛同いただける企業を資金面でサポートするとともに、手数料の一部を利用して、発行企業が希

望する県内の市町村へ、発行企業と第四銀行、北越銀行が連名で金銭寄付を行う取り組みです。



「地域の安全見守り私募債」〈SDGs私募債〉のご案内

信託業務の認可取得

第四銀行

第四銀行では、2019年9月に「金融機関の信託業務の兼営等に関する法律第1条」に基づく信託業務の認可を取得し、10月より相続対策・資産承継関連商品の取り扱いを開始しました。

取扱業務・商品	概要
遺言信託	遺言書(公正証書遺言)の作成、保管、管理、遺言の執行まで一貫して銀行がサポートを行う商品。
遺産整理業務	相続発生時に、銀行がお客さま(相続人)に代わって、預貯金の解約・換金や不動産の名義変更などの煩雑な手続きを行う業務。
金銭信託 (遺言代用信託)	相続発生時に、簡単なお手続きで、あらかじめ指定されたお受取人さまが、お客さま(相続人)から信託されたご資金を受け取れる商品。

特殊詐欺の防止

第四銀行
北越銀行

両行では、主に高齢のお客さまを狙った悪質な特殊詐欺の被害から大切なご預金をお守りするため、さまざまな対策を講じています。

各店舗で特殊詐欺注意喚起のチラシを配布するとともに、行員が各地域の福祉施設などを訪問し、事件の発生状況や詐欺の手口などをお伝えすることで被害の未然防止を図る啓発活動を行っています。

また、新潟県警察と連携し、町内回覧板等による周知活動や新潟県内居住者へチラシの全戸配布を実施したほか、テレビCM・ラジオCMや、新潟県外にお住まいのお客さまへのチラシの郵送などを実施しています。



「特殊詐欺注意喚起」のチラシ

「新潟の魅力発信応援私募債」〈SDGs私募債〉の取り組み

第四銀行
北越銀行

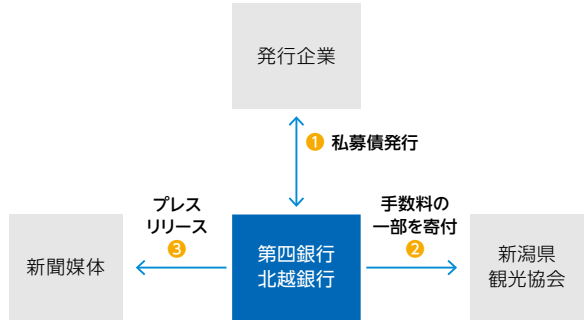
両行では、2019年5月から9月まで、共同企画として「新潟の魅力発信応援私募債」〈SDGs私募債〉に取り組み、124社からご賛同いただきました。

本企画は、私募債発行企業を資金面でサポートするとともに、私募債発行手数料の一部を利用して「公益社団法人新潟県観光協会」へ、発行企業と両行が連名で金銭寄付を行う期間限定の取り組みです。

「公益社団法人新潟県観光協会」への寄付総額は874万円となり、本寄付

金は魅力ある新潟県の観光資源情報を国内外からの観光客に発信する活動にあてられる予定です。

〈私募債発行から寄付までの流れ〉



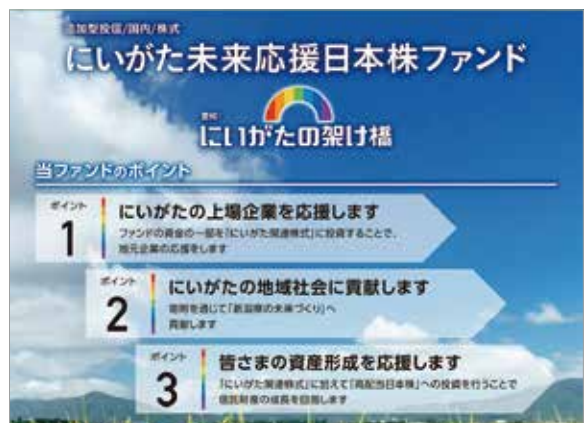
2019年9月末現在
「新潟の魅力発信応援私募債」
〈SDGs私募債〉
申込企業数 **124社**
(寄付予定額874万円)

「にいがた未来応援日本株ファンド」の取り扱い

第四北越
証券

第四北越証券では、2019年5月から、新潟県の未来を応援するための寄付型投資信託「にいがた未来応援日本株ファンド(愛称:にいがたの架け橋)」の販売を行っています。

この投資信託は、資金の一部を、新潟県に本社を置く上場企業などを対象とした「にいがた関連株式」に投資することで、新潟県の経済に貢献されている企業を応援する商品です。また、お客さまにご負担いただいた運用管理費用(信託報酬)の一部を、新潟県の未来づくりを支援するために寄付します。



「にいがた未来応援日本株ファンド」のご案内

2019年9月末現在
「にいがた未来応援
日本株ファンド」
申込件数 **1,480件**

「震災時元本免除特約付き融資」の取り扱い

第四銀行

第四銀行では、大規模地震発生時の事業継続・復旧対策のご支援を目的として「震災時元本免除特約付き融資」を2018年4月より取り扱っており、

多くのお客さまからご利用をいただいています。



2019年9月末現在
取り扱い実績
99先、152.6億円
(2018年4月以降の累計)

「震災時元本免除特約付き融資」
新聞広告

スマートフォン向けアプリの充実



第四銀行では、2019年4月よりスマートフォン向け「第四銀行 通帳アプリ」の提供を開始しました。

「第四銀行 通帳アプリ」は、登録口座の残高や入出金明細をスマートフォンで24時間いつでもリアルタイムで照会可能なサービスであり、多くのお客さまからご利用いただいています。

通帳を発行しないため、記帳や繰越のお手続きが不要で、紙やCO₂の削減につながる環境にやさしい口座であり、紛失・盗難の

心配もないことから、多くのお客さまから新規申込みや既存口座からのお切り替えをいただいています。

2019年9月末現在
通帳アプリ
13,455件
CO₂削減量
1,305kg



通帳アプリ



iPhoneは
こちら



Androidは
こちら



個人ローン商品の「Web完結スキーム」・窓口受付システム「TSUBASA Smile」



第四銀行では、個人ローン商品の「Web完結スキーム」ならびに窓口受付システム「TSUBASA Smile」の取り扱いを行っています。

「Web完結スキーム」は、住宅ローンを除く全ての個人ローン商品について、お申し込みからお借入れまで、スマートフォンやパソコンなどのWeb上でお手続きが完結するサービスです。本サービスの取り扱いにより、お客さまは来店不要・契約書記入不要となるなど、個人ローンをご利用いただきやすくなりました。

また、窓口受付システム「TSUBASA Smile」は、窓口専用のタブレット端末をご用意し、画面誘導により必要項目をご入力いただくことで、お申し込み手続きが完了するシステムです。お手続きは、ペーパーレス、印鑑レスでお客さまと行員が会話しながら進めるため、手続きが大幅に簡略化されました。

2019年4月より普通預金の新規口座開設、2019年7月より届出事項の変更手続きの受付も開始しており、今後もお客さまの利便性向上のため、順次取り扱い業務を拡大していきます。



窓口受付システム「TSUBASA Smile」

育児休業復帰者キャリア懇談会

第四銀行
北越銀行

両行では、女性管理職の登用促進や職務領域の拡大を図るとともに、仕事と家庭を両立しながらキャリアを伸ばし、さまざまなステージで活躍するための就業継続支援を進めています。

2019年10月に、「FG合同 育児休業復帰者キャリア懇談会」を開催しました。当日は、育児休業復帰者である両行行員39名が参加し、社会保険労務士などの専門家を交えたグループワークなどをつうじて悩みや課題の共有や克服のヒントを得る機会とするとともに、就業継続に向けたモチベーションアップやキャリア意識の向上を図りました。



「育児休業復帰者キャリア懇談会」の様子

外部からの評価

第四銀行
北越銀行

両行では、厚生労働大臣より「次世代育成支援対策推進法*1)」に基づく子育てサポート企業として「プラチナくるみん」の特例認定を取得したほか、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律*2)」に基づく認定を受け、認定マーク(愛称「えるぼし」)の最上位である認定段階3を取得しています。「プラチナくるみん」「えるぼし認定段階3(最上位)」のダブル取得は新潟県内企業では両行のみとなります。

また、第四銀行では、2019年2月に、経済産業省および日本健康会議が実施する「健康経営優良法人認定制度」において、2年連続で「健康経営優良法人2019(ホワイト500)」に認定されました。

- *1 「次世代育成支援対策推進法」とは、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境整備のために、企業等による仕事と子育ての両立支援の取り組みを促進することを目的として施行された法律です。
- *2 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」とは、女性の個性と能力が十分に発揮できる社会を実現するため、国・地方公共団体・民間事業主(一般事業主)の各主体の、女性活躍推進に関する責任等を定めた法律です。



「健康経営優良法人2019
(ホワイト500)」認定証



「健康経営優良法人2019
(ホワイト500)」ロゴマーク

森づくり活動

第四銀行
北越銀行

両行では、地域の緑豊かな森を未来へつないでいくため、森林保全活動に取り組んでいます。2009年度より活動している新潟県東蒲原郡阿賀町の「だいの森」に加え、2017年度より新潟県胎内市の荒井浜森林公園において植栽活動を実施しています。

2019年10月には、「だいしほくえつの森づくり」活動として、当社グループの役職員とその家族など総勢407名が参加し、広葉樹500本を植栽しました。

2019年10月末現在
荒井浜森林公園における植栽実績
参加者名 植栽した苗木 植栽面積
1,580名 1,500本 1.5ヘクタール
(2017年度以降累計)



「森づくり活動」の様子

地域新電力会社「新潟スワンエナジー」の設立

第四銀行
北越銀行

当社では、SDGsの達成に向けた取り組みの一環として、2019年7月に新潟県内では初となる官民連携による地域新電力会社「新潟スワンエナジー株式会社」を設立しました。廃棄物発電により得られた電力を再生可能エネルギーとして活用する同社との連携により、地域の低炭素化と地域経済の活性化に貢献していきます。



「新潟スワンエナジー株式会社」発足式

「北銀まごころの会」によるボランティア活動

第四銀行
北越銀行

北越銀行では、役職員の自主参加募金組織である「北銀まごころの会」をつうじて、新潟県内の自然保護ボランティア活動への参加や、環境保護・社会福祉団体などへの寄付活動を行っており、2019年度からは、各地で開催されるボランティア活動に第四銀行の役職員も共同で参加しています。

2019年4月から9月にかけて、新潟県の絶滅危惧種である「トキ」「ヒメサユリ」などの保護ボランティアに両行の役職員とその家族総勢139名が参加しました。



「北銀まごころの会」のボランティア活動の様子

グリーンATM(カーボンオフセット機能を活用した環境への貢献)

第四銀行

第四銀行では、環境に配慮した商品・サービスの提供の一環として、2014年8月よりグリーンATMを設置しています。「使えば使うほど、環境へ貢献できるATM」をコンセプトに、利用1件につき20gのCO₂を新潟県内のクレジット*1でカーボン・オフセット*2する商品で、2019年9月末現在、新潟県内20カ所43台で展開しています。

- *1 「新潟県のクレジット」とは、新潟県の森林を整備することで増加する「CO₂の吸収量」をクレジット(温室効果ガス排出削減・吸収量)として県が認証したもので、企業が排出するCO₂と相殺(オフセット)し、環境活動等への活用が可能です。
- *2 「カーボン・オフセット」とは、日常生活や経済活動において排出されるCO₂等の温室効果ガスについて、別の場所において認められたクレジットにより埋め合わせするという考え方です。

2019年9月末現在
カーボン・オフセット実績
254トン
(2014年8月以降累計)



「グリーンATM」の目印

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

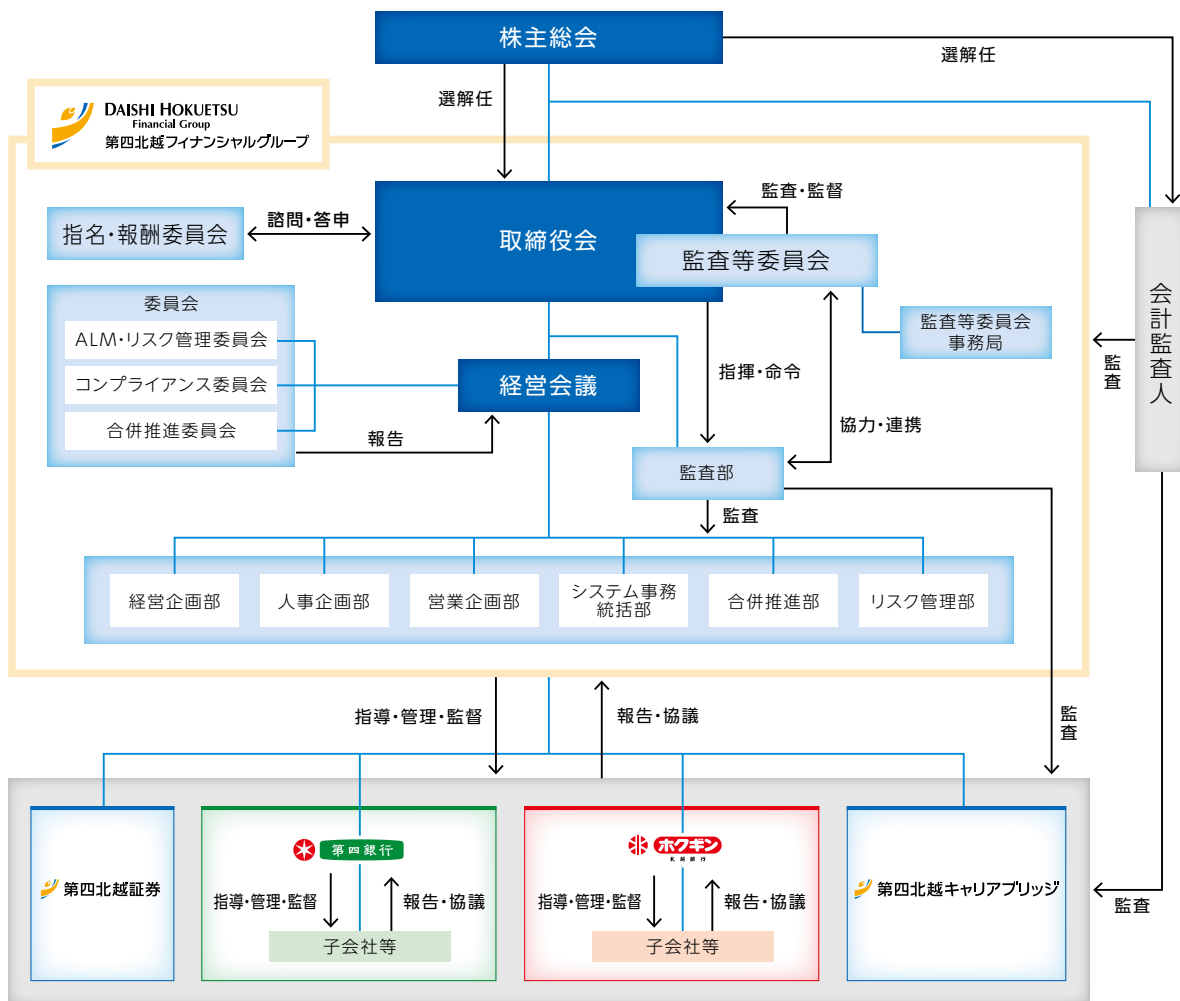
ステークホルダーであるお客さまや地域、株主の皆さまからの高い評価と揺るぎない信頼を確立するため、財務面での健全性や収益力の向上と共に、コーポレート・ガバナンスの強化・充実を経営上の重要課題と認識し、企業経営に関する監査・監督機能の充実や経営活動の透明性向上に努めます。

第四北越FGの「コーポレートガバナンス・ガイドライン」「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」をホームページに掲載しています。

URL : <https://www.dhfg.co.jp/esg/governance/>



コーポレート・ガバナンス体制図



財務ハイライト 2019年度中間決算の概要

第四北越フィナンシャルグループ連結

損益の状況

(単位：億円)

科目	2019年9月期
経常収益	750
経常利益	130
親会社株主に帰属する中間純利益	86
連結自己資本比率	9.66 %

格付

第四北越フィナンシャルグループ

日本格付研究所(JCR)

AAA
AA
A
BBB
BB
B
CCC
CC
C
D

A⁺
A
A ⁻

●格付

企業が発行する債券(社債等)の債務履行の確実性について、公正な第三者である格付機関が評価し、その結果を簡単な記号で表したものを企業の信用度や安全性を客観的に評価した、重要な指標の一つ

第四銀行

日本格付研究所(JCR)

ムーディーズ(Moody's)

A⁺

A2

北越銀行

日本格付研究所(JCR)

A⁺

2行合算

2行の中間期の単体決算を単純合算した計数であり、
第四北越フィナンシャルグループ連結決算の計数とは一致しません。

損益の状況

業務粗利益

454億円

経常利益

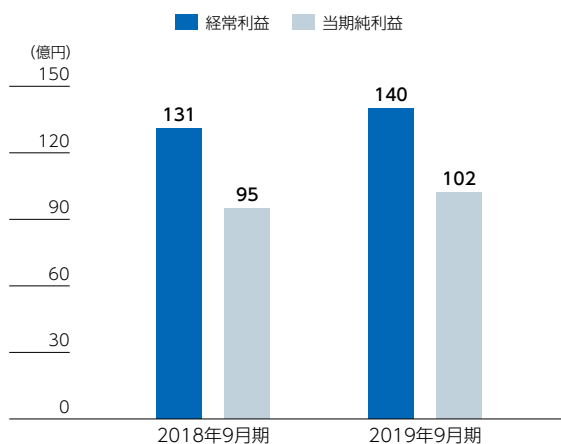
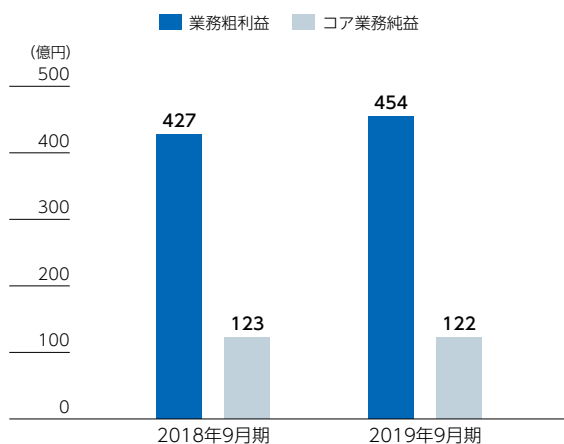
140億円

コア業務純益

122億円

中間純利益

102億円



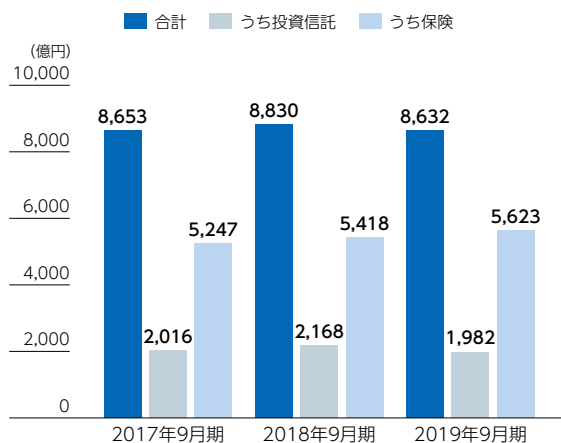
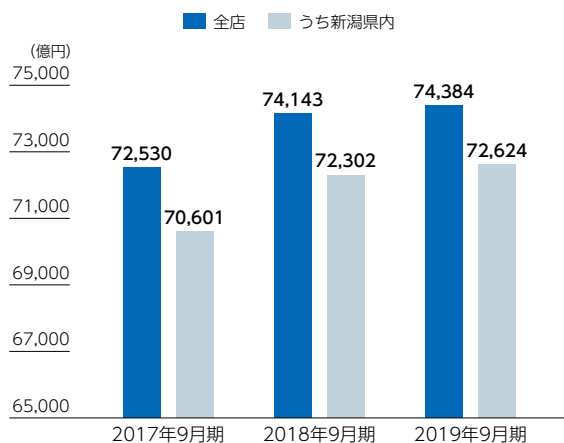
預金・預かり資産の状況

預金*

74,384億円

預かり資産

8,632億円



* 譲渡性預金を含んでいます。

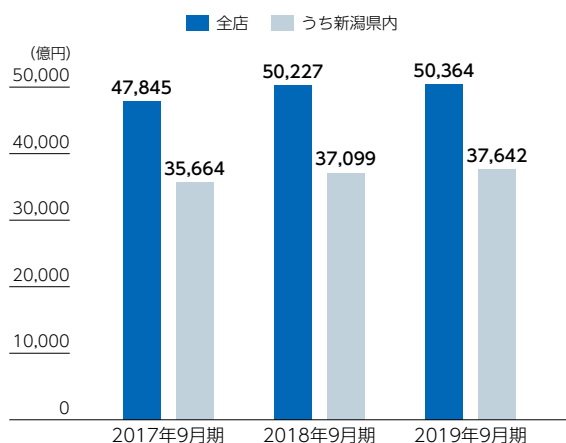
財務ハイライト 2019年度中間決算の概要

2行合算

2行の中間期の単体決算を単純合算した計数であり、第四北越フィナンシャルグループ連結決算の計数とは一致しません。

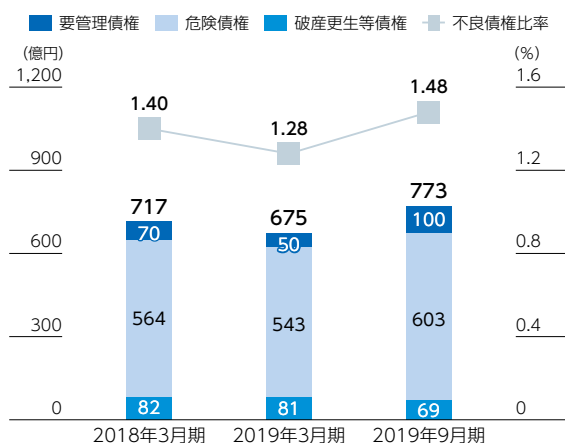
貸出金の状況

貸出金 **50,364**億円



不良債権の状況

不良債権 **773**億円



● 要管理債権

破産更生等債権や危険債権を除く、3ヵ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権

● 危険債権

債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態や経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本回収や利息の受け取りができない可能性の高い債権

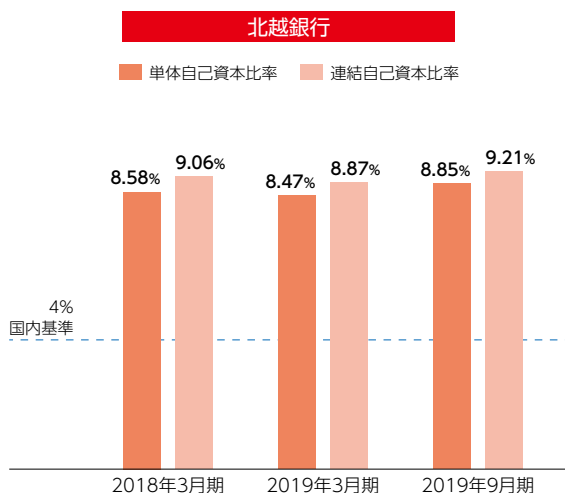
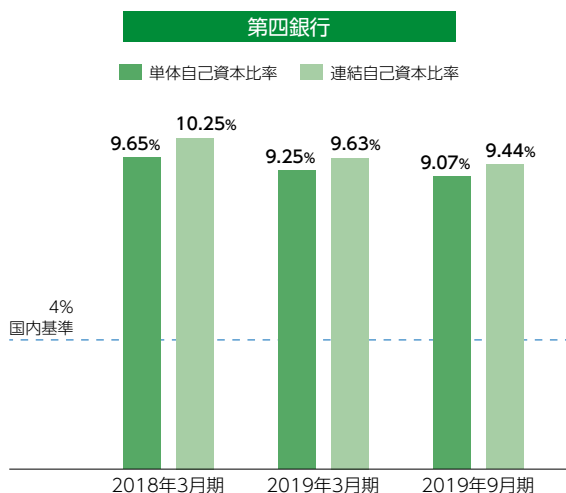
● 破産更生等債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申し立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権

第四銀行・北越銀行 連結・単体

自己資本比率の状況

* 国内のみで営業する銀行に対しては、4%以上の水準であることが求められています。



株主の皆さまへ

株主還元方針

銀行業の公共性に鑑み、将来にわたって株主各位に報いていくために、収益基盤の強化に向けた内部留保の充実を考慮しつつ、安定的な株主還元を継続することを基本方針とします。具体的には、配当金と自己株式取得合計の株主還元率40%を目処とします。なお、当期純利益の増強を基本として、ROE向上に取り組んでいく方針であり、中長期的に5%以上を目指してまいります。

〈1株当たり配当額〉

2020年3月期(年間、予定)	120円
中間配当金(実績)	60円
期末配当金(予定)	60円

株主優待制度

株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの皆さまに長期間当社株式を保有していただくことを目的に、株主優待制度を導入しております。

対象の株主さま

初回は、2019年3月31日現在の当社株主名簿に記載された50株以上を保有する株主さまを対象とさせていただきます。2回目以降につきましては、毎年3月31日を基準日とし、100株(1単元)以上の株式を継続して1年以上保有(毎年3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で連続して3回以上記録)する株主さまを対象とさせていただきます。なお、2019年3月31日現在で50株以上100株未満の株式を保有する株主さまは、2020年3月31日までに買増し、100株以上保有していただきますと継続して株主優待制度の対象となります。

● 初回(2019年3月31日)

2019年3月31日現在で下記の株式数を保有

保有株式数	優待品の金額
50株以上1,000株未満	2,500円相当
1,000株以上	6,000円相当

● 2回目以降(2020年3月31日以降)

1年以上下記の株式数を継続保有

保有株式数	優待品の金額
100株以上1,000株未満	2,500円相当
1,000株以上	6,000円相当

株主優待制度の内容

以下の2つのカタログのいずれかより、保有株式数に応じてお好みの優待品をお選びいただけます。

① 地元新潟県の特産品及び公益財団法人北銀奨学会への寄付を掲載したカタログ

② TSUBASAアライアンス共同企画として他県の特産品を掲載したカタログ*

* TSUBASAアライアンスに参加する地方銀行4行の地元の特産品(千葉銀行：千葉県、中国銀行：岡山県、伊予銀行：愛媛県、東邦銀行：福島県)を掲載したカタログです。

ご注意事項

- 本優待サービスは株主ご本人さまのみご利用いただけます。ご家族を含む第三者には譲渡・貸与などできませんので、あらかじめご了承ください。
- 上記優待サービスのお申込方法、ご利用方法などの詳細は、対象株主さまにお送りするカタログをご参照願います。
- 優待内容・条件等は金融環境の変化などによって、変更となる可能性があります。その際は、当社ホームページ等にて、あらかじめお知らせいたしますのでご了承ください。

株式及び株主の状況

(2019年9月30日現在)

資本金の状況

資本金	300億円
-----	-------

株式の状況

株式数	発行可能株式総数	100,000千株
	発行済株式総数	45,942千株
株主数		18,649名

大株主の状況(上位10先)

	株主名	持株数	持株比率
1	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,840 千株	6.22 %
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,777	3.89
3	明治安田生命保険相互会社	1,624	3.55
4	日本生命保険相互会社	1,156	2.53
5	DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	889	1.94
6	東北電力株式会社	852	1.86
7	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	848	1.85
8	第四銀行職員持株会	804	1.76
9	大同生命保険株式会社	705	1.54
10	JP MORGAN CHASE BANK 385151	687	1.50
	上位10先合計	12,186	26.69

*1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

*2. 持株比率は、自己株式を控除のうえ算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

役員一覧

役員

(2019年10月1日現在)



代表取締役会長

佐藤 勝 弥



代表取締役社長

並木 富士雄



取締役

長谷川 聡



取締役

広川 和 義



取締役

渡邊 卓 也



取締役

小原 清 文



取締役

高橋 信



取締役

殖栗 道 郎



取締役(監査等委員)

河合 慎 次郎



社外取締役(監査等委員)

増田 宏 一



社外取締役(監査等委員)

福原 弘



社外取締役(監査等委員)

小田 敏 三



社外取締役(監査等委員)

松本 和 明

* 増田 宏一氏、福原 弘氏、小田 敏三氏、および松本 和明氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

組織図・グループ企業の状況

組織図



グループ企業の状況

(2019年10月1日現在)

会社名	主要業務内容	設立年月日	資本金
株式会社 第四銀行	銀行業務	1873年11月 2日	327億円
株式会社 北越銀行	銀行業務	1878年12月20日	245億円
第四北越証券 株式会社	証券業務	1952年 8月 8日	6億円
第四北越キャリアブリッジ 株式会社	人材総合コンサルティング	2019年 5月24日	3,000万円
第四信用保証 株式会社	信用保証業務	1978年10月27日	5,000万円
北越信用保証 株式会社	信用保証業務	1986年 8月20日	2億1,000万円
だいし経営コンサルティング 株式会社	コンサルティング業務・ベンチャーキャピタル	1984年 6月 8日	2,000万円
株式会社 ホクギン経済研究所	経済・社会に関する調査研究、情報提供業務	1997年 7月 1日	3,000万円
第四リース 株式会社	総合リース業務	1974年11月11日	1億円
北越リース 株式会社	総合リース業務	1982年11月 1日	1億円
第四コンピューターサービス 株式会社	コンピューター関連業務	1976年 5月10日	1,500万円
第四ジェーシーピーカード 株式会社	クレジットカード・信用保証業務	1982年11月12日	3,000万円
第四ディーシーカード 株式会社	クレジットカード業務	1990年 3月 1日	3,000万円
北越カード 株式会社	クレジットカード・信用保証業務	1983年 6月 1日	2,045万円

第四北越フィナンシャルグループからのお知らせ

 **第四銀行**  **ホクギン** **どちらのATMでも
現金のお引出しは**

  **ご利用手数料
全時間帯** **0円**  

第四北越フィナンシャルグループのホームページ

財務・IR情報や株式情報、ニュースリリースなどをホームページからご覧いただけます。

第四北越フィナンシャルグループ



<https://www.dhfg.co.jp/>



人材紹介会社「第四北越キャリアブリッジ株式会社」のホームページ

2019年10月1日に事業を開始した「第四北越キャリアブリッジ株式会社」のホームページも開設しました。

第四北越キャリアブリッジ



<https://www.dhfg.co.jp/dhcb/>



地域商社「株式会社ブリッジにいがた」のホームページ

2019年4月1日に設立した「株式会社ブリッジにいがた」のホームページも開設しています。

ブリッジにいがた



<https://www.bridge-niigata.co.jp/>



このディスクロージャー誌は、
植物油インキで印刷しています。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



第四北越フィナンシャルグループは
SDGs宣言を制定しています。



第四銀行と北越銀行は
21世紀金融行動原則に署名しています。